

## 鎌倉文学館指定管理業務 実績評価 (平成30年度第4四半期)

### 1 利用の承認等に関する業務

#### ● 来館者数の動向

1月から3月までの来館者数は11,672人で平成29年度の同時期と比較して180人、約1.6%増加した。前指定管理期間の第4四半期の平均値(11,449人)と比較すると223人、約1.9%増加した。1・2月は平成22年度から継続実施している「愛は言葉だ！文豪のハートにふれるバレンタイン」イベントや地元商店街イベントに参加しテーマを連携した展示を行うなどの工夫により寒い時期にも関わらず入館者の増加につなげている。3月後半は、前年度来館者数と比較して減少しているものの本館雨樋修繕のための足場の設置により建物外観目的の来館者が得られなかったことが想定できるものの本館写真ポストカードを配布する等で前年比約1割以内の減少に留めている。

### 2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

#### ● 施設・設備

- ・修繕実施
  - 1月 電動書架リード線部品交換
  - 2月 2階ユニバーサルトイレ手洗器水漏修繕、水道管修繕
  - 3月 車寄せ屋根軒天井補修修繕
- ・その他総合管理業務等は計画通り行われている。

#### ● 文学館資料

- ・収蔵庫内の温湿度管理が適切に行われている。
- ・文学館資料の特別利用について適切な事務処理によって行われている(2件)。
- ・収蔵図書の閲覧(3件)、レファレンス(3件)

### 3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

#### ● 展覧会

- ・事業計画どおり、特別展及び常設展を開催した。
  - 1月4日～3月31日 収蔵品展「作家と歩く鎌倉 その3 北鎌倉・大船方面」  
収蔵品展「鎌倉ゆかりの文学」
  - 1月4日～3月8日 ミニ特集「生誕140年「昇曙夢」
  - 1月4日～2月17日 没後800年記念ミニ特集「源実朝」
  - 3月9日～3月31日 ミニ特集「関東大震災をこえて～与謝野晶子」  
を取り上げた。

#### ● 普及事業

事業計画に従い、1月から3月にかけて「鎌倉ゆかりの文学」の上映、文学館職員が建物と展示を解説する「ギャラリートーク」、1月下旬から2月中旬にかけてバレンタインイベントとして「愛は言葉だ！文豪のハートに触れるバレンタイン」を開催し「バレンタインギャラリートーク」を実施した。この他、1月に資料調査講座「中原中也・詩の風炉先屏風」、2月に資料解説講座「作家とスイーツ」、3月に朗読ワークショップ、文学散歩「北鎌倉周辺」を実施した。

#### ● その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

- ・市内在住の童話作家 角野栄子さんが自身の作品を朗読する「おはなし会 角野栄子先生」を1月から3月に かけて実施した。
- ・市内在住の作家庵原高子氏が自身の作品を解説する「自作を語る『庵原高子』」を実施した。

### 4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

#### ● 収集、保存、整理

- ・収蔵品の適切な保存、整理ができています。市職員の立会のもと所在確認を行った。
- ・資料購入と購入に係る手続

## 5 その他市長が定める業務

### ● 文学館資料の調査及び研究

- ・事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催した。

### ● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等が期日までに提出された(1月分:2月14日、2月分:3月7日、3月分:4月12日)。
- ・展示替に伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や関連イベントの情報を掲載し、市民への周知を行った。

### ● その他

- ・メディア対応を積極的に行った。
- ・学校や行政、各種団体の視察等に対応した。
- ・警備員教育に2名が参加した。

## 6 全体評価

- ・文学館職員による作品解説と俳優かゆ氏の指導による朗読を楽しむ「朗読ワークショップ」、文学散歩「北鎌倉周辺」、市内在住の作家が自身の作品について解説を行う「自作を語る」『庵原高子』は好評で、特に朗読ワークショップは定員の約2倍の応募があり盛況であった。また、昨年国際アンデルセン賞作家賞を受賞した角野栄子氏による「おはなしの扉」は参加者が100名を超え大盛況であった。今後も来館者の心をつかむ企画を実施されたい。
- ・第4四半期は修繕を多く実施し、施設・設備管理について事業計画に基づき適切に行われている。施設・設備ともに老朽化が進む中、今後も日頃から適宜点検に努め、重大な事態の未然防止を図られたい。

鎌倉文学館 平成30年度 第4四半期 判定評価

評価項目	配点	第4四半期 評価結果	減点
<b>1 利用の承認等に関する業務</b>			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
<b>2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務</b>			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
<b>3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務</b>			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
<b>4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務</b>			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができているか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
<b>5 その他市長が定める業務等</b>			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報情報は適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・○ 実施されていない場合・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%